

令和7年度 さいたま市立岩槻中学校だより 10月号 (令和7年10月1日発行)



槻の若木

〒339-0054 岩槻区仲町1-14-35 電話：048-756-0254
HP：<http://iwatsuki-j.saitama-city.ed.jp>

FAX：048-758-7483

Mail：iwatsuki-j@saitama-city.ed.jp



「挑戦」

校長 金子 宜史



先日までの酷暑から、朝晩は徐々に過ごしやすい日も増えてきました。一方、日の暮れる時間が早くなり夕方などは見えづらくなってきております。交通事故には十分注意する必要があります。自転車乗車時のヘルメットの着用、道を横断する際の十分な確認等、大人が手本を示すとともに、ご家庭でもお子様にお声掛けをお願いいたします。

9月5日(金)は「若木祭」でした。生徒会本部役員や支援隊が中心となり、大いに盛り上げ楽しく充実した行事としてくれました。吹奏楽部、箏曲部、科学部、美術部の文化部をはじめ、ビブリオバトル、総合的な学習の発表、英語弁論大会出場者のスピーチ、有志による大爆笑ネタのお笑いやダンス表現、お芝居(コント?)、すべての発表の完成度が高く驚きの連続でした。生徒が中心となり、まとめ上げた「若木祭」は、とても素晴らしい行事となりました。

さて、先日の新人戦壮行会で、アーティスティックスイミング世界ユース選手権の日本代表選手団に選出され、ギリシャ・アテネ大会に出場した、本校3年生の生徒から後輩たちに向けて「挑戦」について話をしてくれました。朝早くから夜遅くまでの厳しい練習と学校との両立が難しく、悩み苦しんだこともあったようです。でも、仲間や家族の支えがあり乗り越えることができたそうです。そして、最後に、これからの自分の抱負と、岩槻中の仲間へ「失敗を恐れず挑戦してほしい。結果がどうであれ挑戦したこと自体が必ず力になる。」と伝えてくれました。

10月は、これまでの半年を振り返り、これからの半年をどう過ごしていくかを考え、実行する大事な時です。岩槻中にとっても、生徒一人ひとりにとっても「挑戦」を忘れず、大きく成長していく半年にしてほしいと思います。学習は勿論ですが、生徒会役員改選選挙も学校を前進させるための「挑戦」です。合唱祭も学級を更に成長させる「挑戦」です。新人戦を終えて、何が良くて、何が足りなかったのか、次の目標に向けての「挑戦」です。3年生にとってこの先は、進路を決めていく「挑戦」となります。不安になることもあるかもしれませんが、仲間と励ましあい支え合い、挑戦し成長してほしいと思います。半年後、1年生は先輩に、2年生は、伝統ある岩槻中の最上級生として、さあ、ここからの挑戦が本当に大切です。

令和7年度も中間地点、中学生にとって、後半の半年は成長著しい時期です。新たな悩みや不安も生まれてくることもあるでしょう。岩槻中生一人ひとりの大きな成長を支えていくためにも、学校・家庭・地域のより強い連携が不可欠です。とりわけ進路選択を控えた3年生をはじめ、思春期特有の言動が現れた子どもの保護者の皆様は何かと心配される時期です。学校は、些細なことでも気になるようなことがあれば相談させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

